

心に灯がともったような時間でした

五島朋幸先生の話聞いて

♪ 富田 健一郎 ♪

今起こっている厳しい現状に対して、実に明確なビジョンを示して下さいました。

口ばかりの理想ではなく、他の追随のない圧倒的な日本一を目指す先生の熱い想いに、沢山の人の心に灯がともったような時間だったと思います。

本当は、こんなことを先生に言わせなくて済むような地域、社会になって、「最期まで口から食べられるなんて、そんなこと言わなくても当たり前でしょ？」という価値観が普通になっている状況になるよう、これからは私も力を尽くしたいと感じました。

他職種連携というと様々な壁を感じ、徐々にあきらめて行く方が少なくないように感じます。

連携して動く事に、「仕事が増えたり、負担がかかったり」といったマイナスのイメージを持つ専門家がまだまだ多いのかもしれませんが。

目先の損得ではなく、もっと大きなサイクルの中で、結果として後から皆に全体に大きな利益が上がるような、そんな制度についても提言が含まれているように思います。

五島先生の話の中には、見逃せない重要な点が沢山あったように思います。

予防に力を入れる重要性、仮に状態が落ちたとしても他職種による網の目のようなネットワークの力強さで支え、もしも胃ろうになっても、出来る事がたくさんあること。

「口腔ケア」の間違った浸透を、世直し行脚されているようでもあり・・・。

決して情熱一辺倒でなく、きちんとした戦略を練り、良い人材が集まって、確実な成果をあげ、それを地域に還元していくことで広がっていく「街づくり」の様子が伝わってきました。

<mailto:kentomitapl@gmail.com>